

後志地域づくり推進ビジョン進捗状況(令和8年6月時点)

地域重点プロジェクト名：農林水産業の持続的発展・ブランド化推進プロジェクト

主な施策

- 水産資源の持続的利用や新たな増養殖の推進
- 漁港施設の有効活用等による海業、マリンビジョンの取組の推進

- *海業協議会参画(オブザーバー)
- ※古平漁港(R6.7~)、美国・余別漁港(R7.7~)
- 美国・余別漁港地区積丹海業検討協議会(第1回:R7.7、第2回:R7.12、第3回:R8.2)



積丹海業協議会

- 多様な農林水産業の担い手の育成・確保
- 担い手育成・確保

- *倶知安農業高等学校
- ※教育支援パートナーシップ協定締結(R6.8~)
- 出前講座(1年生)(R8.4)
- ・事業説明(各部門)、災害復旧事業等
- 施設見学会(3年生)(R8.6)※倶知安土地改良区
- ・農業施設の役割、重要性について説明
- 研修会(1、2年生)(R8.6)※小樽建設協会建世会
- ・卒業生からの仕事紹介、農地整備の必要性、ICT施工
- ・工事見学、ドローン操縦体験
- *ニセコ国際高等学校
- ※教育支援パートナーシップ協定締結(H27.3~)
- 環境調査体験(1年生)(R7.9)
- ・ルベシベ川での水質、水生昆虫調査



出前講座(各部門の事業説明)



施設見学会(左から双葉ダム取水塔、ペーベナイ頭首工)



研修会(左から工事見学、ドローン操縦体験)



環境調査体験

- 多彩な一次産品や特産品の地元利用と道内外への販路拡大
- 官民協働による国内外でのプロモーションの展開

- 農林水産活動団体の支援(「わが村は美しくー北海道」運動との連携)

- 後志の食の魅力を応援し隊！(R6~)
- 後志の食を応援・PRし、地域の魅力向上につなげていきたい、生産者などへ取材レポートと作業状況の動画を開建HPとXに掲載し情報発信
- https://www.hkd.mlit.go.jp/ot/tiiki_sinkou/juthpp00000086h1.html
- ・ブロッコリー、ミニトマト:掲載済(R7年度取材)
- ・らんこし米:R8年度取材中



取材風景

ブロッコリー(左上)、ミニトマト(右上)
らんこし米(左下、右下)

後志地域づくり推進ビジョン進捗状況(令和8年6月時点)

地域重点プロジェクト名：地域資源を活用した持続可能な観光地域づくりプロジェクト

主な施策

■ウィンタースポーツをはじめ、サイクルツーリズム、ラフティングなどのアクティビティや
地域の文化等の組み合わせによるアドベンチャートラベルの推進

○自然・景観の保全と活用による質の高いコンテンツの提供

■新たな交通ネットワークを広域的に活用するための連携した取組の推進

○シーニックバイウェイ北海道「支笏洞爺ニセコルート」の推進

○自然・景観の保全と活用による質の高いコンテンツの提供

→道路協力団体等との連携(交通マナー啓発)、
ビューポイントパーキング(VPP)魅力向上検討(R6～)
※北海道科学大学



シェア・ザ・ロード啓発カーの取組



シェア・ザ・ロードステッカー



VPP草刈・清掃



大学との連携(左から意見交換、階段状のファニチャーの模型、現地展示)



みなとオアシス小樽運営協議会

■みなとオアシスの取組推進

→みなとオアシス小樽運営協議会参画(オブザーバー)(R7.12～)

地域重点プロジェクト名：多様性を尊重し誰もが安全安心に暮らせる地域づくりプロジェクト

主な施策

■地域の特性を踏まえた防災対策の推進

○関係機関の連携による防災体制の強化

→災害対策用機械夜間操作訓練(R8.5)

※災害対策用機械の出動等に関する協定(R2.2～)

災害に対し万全な体制で対応するため、悪条件下となる
夜間を想定した災害対策用排水ポンプ車及び照明車の
稼働点検及び操作訓練を実施

→「防災ラボ」への協力出展(R8.6)

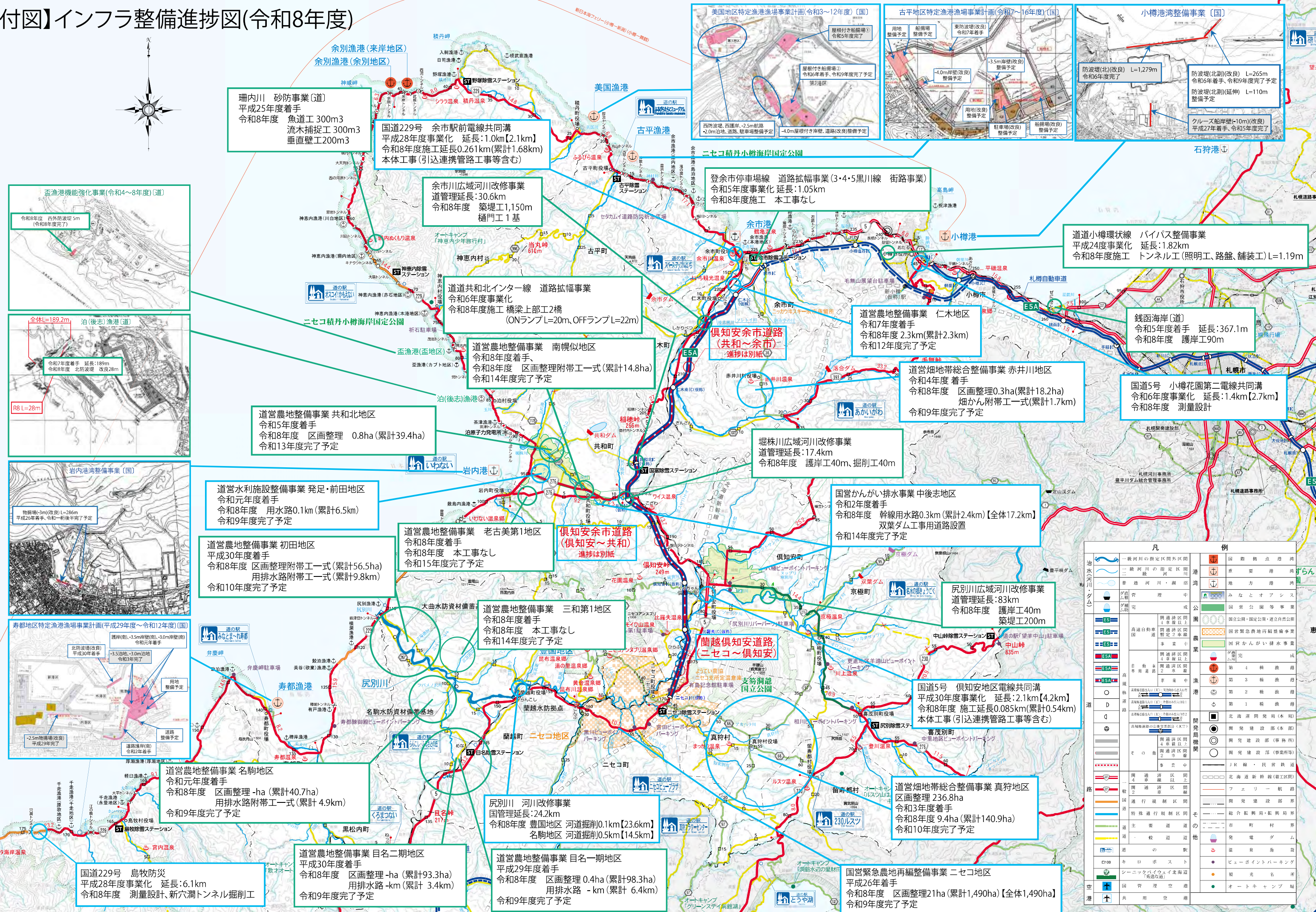
医療、福祉、インフラ、保険の専門家が集結し、地域全体の
防災への意識を高めることを目的に小樽市で開催され
た防災啓蒙イベントへの参加



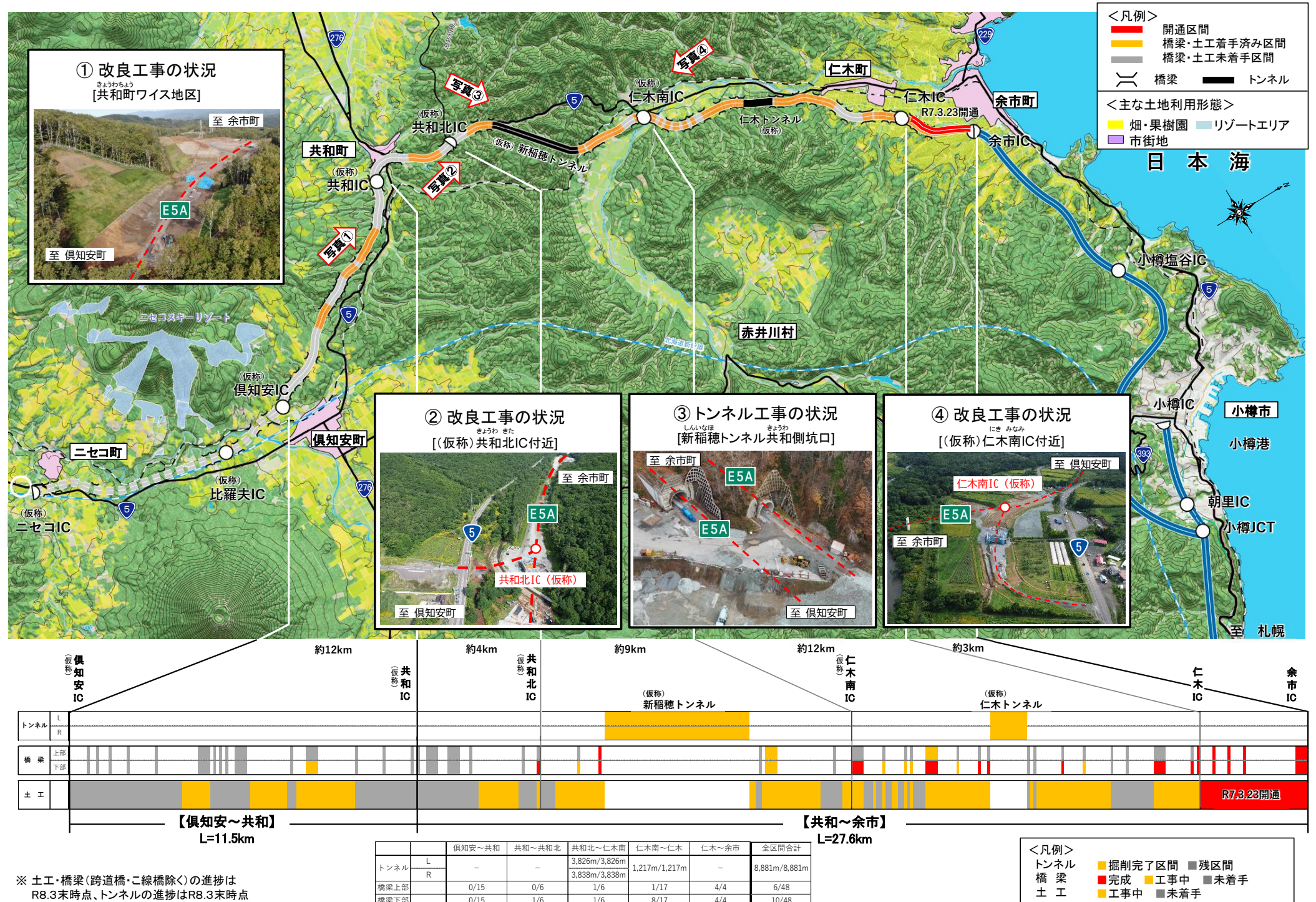
災害対策用機械操作訓練の様子



防災ラボ(左から受付、3Dシアター上映、災害対策本部車)



インフラ整備進捗図(令和7年度末)



農林水産業の持続的発展・ブランド化推進プロジェクト

担い手の確保や収益性の向上に向けた取組を推進し、農林水産業の持続的発展を図るとともに、ワインをはじめ豊富で良質な１次産品を活用した商品開発や情報発信などにより、農林水産物の高付加価値化やブランド化を促進します。

地域のめざす姿の実現に向けた施策の方向

- ② 「ゼロカーボン北海道」の実現に向けた、豊かな自然環境と調和する地域社会の構築
- ③ 地域の特色を活かした多種多様な農林水産業の展開
- ④ 半導体・デジタル関連産業の集積をはじめ、本道経済をリードする産業の活性化

重点的に取り組む施策

■ 高品質で収益性の高い農産物の栽培及びＩＣＴを活用した省力化技術の普及

- さつまいもなどの高収益作物の導入推進
- ＩＣＴを活用した省力化技術の普及
- 鳥獣被害防止対策の推進

■ 道内一の収穫量を誇る醸造用ぶどうを活かしたワイナリーの集積とワイン製造におけるカーボンニュートラルの取組の普及促進

- 栽培・製造・マーケティング等の技術の向上
- ワイン製造におけるカーボンニュートラルに係る取組内容の調査・研究及び各ワイナリーへの普及促進

■ 水産資源の持続的利用や新たな増養殖の推進

- トラウトサーモンなど新たな養殖の推進
- 漁港施設の有効活用等による海業、マリンビジョンの取組の推進
- 水産物のブランド化など付加価値向上に向けた取組の推進
- コウナゴなど適切な資源管理の推進
- トドなどの海獣による漁業被害防止対策の推進
- 藻場保全などブルーカーボンに関する取組の推進
- 関係機関と連携した密漁防止対策の推進

■ 林業・木材産業（全道屈指の強度を持つ「ようていカラマツ」等）の振興

- 地域の特性に応じた森林づくりの推進
- 地材地消の推進
- 「ようていカラマツ」としてのブランド化の推進
- 鳥獣被害防止対策の推進

■ 多様な農林水産業の担い手の育成・確保

- 担い手の育成・確保

■ 多彩な一次産品や特産品の地元利用と道内外への販路拡大

- 特産品の発掘・磨き上げ
- 安全・安心を基礎とした「食」のブランド力の向上
- 「ようていカラマツ」としてのブランド化の推進
- 地元食材のレストランでの利用促進など産消協働の推進
- 官民協働による国内外でのプロモーションの展開

■ 農林水産活動団体の支援（「わが村は美しく－北海道」運動との連携）

地域資源を活用した持続可能な観光地域づくりプロジェクト

自然景観や地域の文化の組み合わせによるアドベンチャートラベルや、ワインをはじめとする多様な食資源を活かしたツーリズムの推進など、地域ならではの優れた地域資源を十分活用し、旅行者の滞在期間の延長や観光の通年化、広域化を図り、持続可能な観光地域づくりを推進します。

地域のめざす姿の実現に向けた施策の方向

- ⑤ アドベンチャートラベルの推進など、多彩な地域資源を活用した観光の振興
- ⑥ 地域固有の文化や歴史の継承・活用
- ⑦ 交流を支える基盤整備の促進

重点的に取り組む施策

■ 後志地域の自然景観や食資源を活用した広域観光の推進

- 農業・漁業体験など一次産業や食品加工業を始めとする二次産業と観光事業者との連携による「食」を活かした魅力ある観光地づくり
- 自然景観や食などの地域資源を活用した広域観光の推進

■ 地域の稼ぐ力を引き出す管内のDMOとの連携

- 北後志地域やニセコ地域を核とした周辺地域への広域化や観光消費の拡大
- DMOとの連携によるプロモーションや情報発信

■ ウィンタースポーツをはじめ、サイクルツーリズム、ラフティングなどのアクティビティや地域の文化等の組み合わせによるアドベンチャートラベルの推進

- インバウンド受入体制の充実
- 官民協働による国内外でのプロモーション展開
- 自然・景観の保全と活用による質の高いコンテンツの提供

■ 地域の観光ビジネスで活躍できる国際感覚やコミュニケーション能力を備えた人材の育成

- インバウンド受入体制の充実
- 商品造成や観光誘客プロモーションができる人材の育成

■ 新たな交通ネットワークを広域的に活用するための連携した取組の推進

- 宿泊地（ハブ）と周辺の地域（サテライト）が連携し、多彩な魅力ある観光資源を活用した通年型・滞在型観光の推進
- シーニックバイウェイ北海道の推進
- 地域交通ネットワークの充実・確保
- 広域観光の推進
- インバウンド受入体制の充実
- 自然・景観の保全と活用による質の高いコンテンツの提供

■ みなとオアシスの取組推進

多様性を尊重し誰もが安全安心に暮らせる地域づくりプロジェクト

労働者の通年雇用化や若年者への地元企業の魅力発信等による人材の流出抑制、移住・定住施策と一体となった人材誘致、グローバル人材の育成や多文化共生の推進、地域公共交通の利用促進や運転手確保などによる地域交通・物流ネットワークの確保、地域特性を踏まえた防災対策及び医療・福祉施策、再生エネルギーの活用や森林づくり、地域住民等のカーボンニュートラルに対する更なる意識醸成などを通じた環境と調和した地域づくり及び生産空間に住み続けられる環境づくりを推進します。

地域のめざす姿の実現に向けた施策の方向

- ① 誰もが健康で安心して暮らせるまちづくりの推進
- ② 「ゼロカーボン北海道」の実現に向けた、豊かな自然環境と調和する地域社会の構築
- ⑦ 交流を支える基盤整備の促進

重点的に取り組む施策

■ 冬季に偏在する労働者の**通年雇用化**、学生と地元企業のマッチング支援や学生に対する情報提供を通じた**地元定着の促進**

- 無料職業紹介所の開設による就業相談の実施
- 若年者に向けた地元企業説明会等の開催

■ 国際感覚やコミュニケーション能力を備えた**グローバル人材の育成**、**多文化共生の推進**

- 多文化共生に向けた多様な主体の交流機会や外国語実践機会等の創出
- ShiriBeshi留学などを通じたグローバル人材の育成
- 市町村と連携した多文化共生の場の提供

■ 安全かつ安心に暮らせる**医療・福祉体制の整備**

- 地域に必要な医療提供体制確保の推進
- 安心して子どもを生み育てることができる環境づくり
- 高齢者がいつまでも健康で暮らすための環境づくり
- 障がいのある人が暮らしやすい地域づくり

■ 市町村と連携し、移住定住施策と一体となった**人材誘致**

- 移住フェアなど後志をPRする場へのブースの出展等
- SNS等による情報発信

■ 地域公共交通ネットワークの**維持支援**

- 市町村や事業者と連携したバスの運転手確保の取組の実施
- 公共交通利用促進のための広報活動

■ 地域の特性を踏まえた**防災対策の推進**

- 関係機関の連携による防災体制の強化
- 地域住民等を対象とした原子力防災に係る地域学習会の開催

■ 地域住民等の**カーボンニュートラルに対する意識醸成**

- 地域住民等を対象とした出前講座などの啓発活動の実施